

安全にご使用いただくために

本器を安全にお使いいただくために次の事項をお守りください。誤った使い方は火災や感電、故障の原因となります。

⚠️ ご使用上の注意

- 電源コンセントや電気製品への接続時は感電の恐れがありますので、コンセントやプラグの金属部に触れないように十分に注意してください。また、濡れた手では絶対に触らないでください。
- 本器は防水構造ではありません。本器を水につけたり、濡らしたりしないでください。また、本体やコンセント、プラグに水がかかる様な場所では使用しないでください。万一、水に濡れてしまった時は使用しないでください。
- 本器を次の様な場所に置かないでください。火災、感電の原因となる事があります。
 - 1)直射日光の当たる場所
 - 2)埃の多い場所
 - 3)湿気の多い場所
 - 4)布団や電気カーペットの上
 - 5)調理台のそばなど油煙が当たる様な場所
 - 6)強い磁気のある場所
- 水、液体、異物(金属片など)が本器内部に入ると、火災、感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
 - 1)本器の差し込みプラグをコンセントから抜く。
 - 2)お買い上げの販売店または弊社にご連絡ください。
- 煙が出ている、変な臭いがする、発熱している等の異常事態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
 - 1)本器の差し込みプラグをコンセントから抜く。
 - 2)お買い上げの販売店または弊社にご連絡ください。
- 本器を分解、改造しないでください。感電、やけど、けがをす原因となります。
- 本器を火中に投入しないでください。破裂による火災、けがの原因となります。
- 本器に殺虫剤をかけたり、シンナー・ベンジンで拭いたりしないでください。火災、変形、故障の原因となります。
- 雷が鳴り出したら本器の差し込みプラグには触れないでください。感電の原因となります。
- 本器を落とした時など、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 本器に接続する電気器具のプラグを中途半端に差し込んだり、たこ足配線をしないでください。
- 電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しないでください。
- 出力コンセントに電気器具のプラグを差し込んだままコードを引っ張らないでください。電気器具を抜き差しする時は、本器を手でしっかりと持ち、真っ直ぐに抜き差ししてください。
- プラグの刃の周辺部分に埃がたまるように、コンセントから抜いて、定期的に掃除してください。

・乳幼児の手の届かない所で使用、保管してください。感電、やけど、けがの原因となる事があります。

・リモコン操作、電子スイッチで動作する器具、センサーによって自動で動作する器具、電子タイマー内蔵の器具などには使えない事があります。

・接続する器具によっては始動時の電流が大きい器具がありますので、最大消費電力以下の器具を使用してください。

・オイルヒーターやIHヒーター、エアコン、クーラー等の機器には使用できません。

・ヒーターなどで壁面のコンセントと直接接続しなければならない機器がありますので、接続される機器の取扱説明書をご確認ください。

・出力コンセントの容量は15A(1500W)までです。必ずそれ以下でご利用ください。

・1000W以上の器具を使用するときは単独で使用してください。

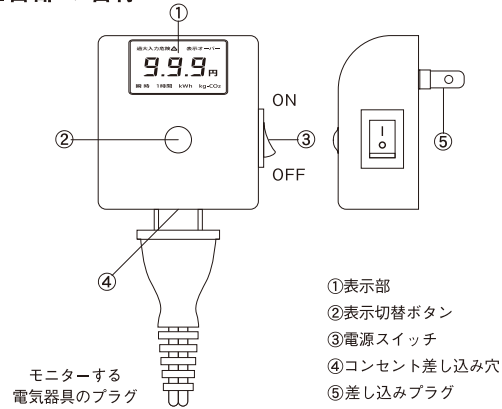
1.特長

本器は、6種類の測定ができ、表示切替もボタンのワンタッチで簡単に行えるので、電気代やCO₂排出量をモニターできて地球環境の改善の一端を担うための参考にもなります。

2.仕様

用 途	家庭及びオフィス家電の電源のモニター用（オイルヒーターやIHヒーター、エアコン・クーラー等の機器には使用できません。）
定 格 電 圧	AC100V 50/60Hz
出力コンセント容量	15A以下(1500W以下)
消 費 電 力	0.5W以下
測定可能範囲	5W～1500W
測 定 精 度	±10%以内(力率1の器具接続時) 読み値の±10%+3digit (力率1、正弦波の器具接続時)
瞬 時 電 力 量	1W～1.5kW
使用温度範囲	0～+50℃、70%RH以下(但し、結露のない事)
保存温度範囲	0～+60℃、80%RH以下(但し、結露のない事)
寸 法 ・ 重 量	約W60×H69×D33.5mm、約90g
本 体 材 質	PC/ABS樹脂(混合)
付 属 品	取扱説明書

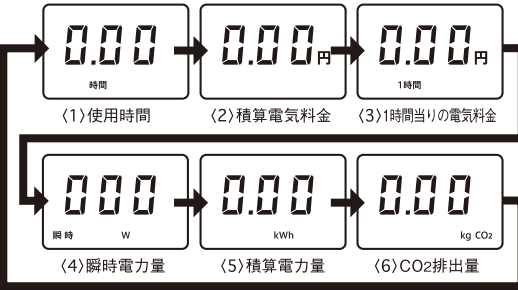
3.各部の名称



4.使用方法

- (1) まず本器の差し込みプラグ⑤をコンセントに差し込み、電源スイッチ③をONにします。表示部に表示がされていることを確認してください。電源スイッチをONにした時点で既に測定が開始しています。
- (2) コンセント差し込み穴④に計測する電気器具のプラグを差し込みます。
- (3) 測定は電気器具のプラグを差し込んだ段階で既に開始しており、使用している電気器具の電気使用がない場合は使用時間のみが積算されます。正確に測定したい場合は、一度電源スイッチ③を入れなおしてください。測定値はクリアされ、最初から測定を開始するので正しい測定ができます。測定中は各表示画面の単位または、項目が点滅して測定中であることが確認できます。

(4) 表示切替ボタン②を押すごとに表示は下記のように切り替わります。



(5) 測定終了後は、必ず接続した電気器具の電源を切り、本器の出力コンセント④から抜いてください。本器の電源スイッチでの電源入切は行わないでください。

5.各機能について

5-1.使用時間
電源を入れてからの時間の累計を表示。
※測定中は“時間”が点滅します。(0～999時間)

2.00
(時間)

測定時間	表示例
1分～9時間59分	9.59 (9時間59分)
	99.5 (99時間50～59分)
10時間～99時間59分	小数点以下の数値は10分単位を意味します。 (例) 15.1＝15時間10分、64.2＝64時間20分
100時間以上	990 (990時間0～59分)

5-2.積算電気料金
使用電力量に応じた料金の累計を表示。
1kWh＝22円で計算しています。(0～999円)

4.40 円

5-3.1時間当りの電気料金
1時間あたりの電気料金を表示。
瞬時電力量(kW)×22円で計算しています。
※測定中は左下に“1時間”が点滅します。
(0～999円)

2.20 円
(1時間)

5-4.瞬時電力量
リアルタイムで使用している電力量を表示。
※測定中は左下に“瞬時”と“W”または“kW”が点滅します。
(1W～1.5kW)

1.00
(瞬時) (W)

5-5.積算電力量
使用した電力量の累計を表示。
※測定中は“kWh”が点滅します。(0.01～999kWh)

0.20
(kWh)

5-6.CO2排出量
電力量×CO2排出係数0.555の累計を表示。
※測定中は“kgCO2”が点滅します。

0.11
(kg CO2)

⚠ ご注意

・瞬時電力量が1500Wを超えると表示部①に“過大入力危険△”が表示されます。この場合は、大変危険な状態ですので速やかに使用している機器の電源を切り、規定の出力コンセント容量(1500W以下)で測定し直してください。

・使用時間が999を超えると値が点滅し、使用時間の表示時に“表示オーバー”が表示されます。ただし、その他の機能は、継続して測定を行います。

5-7.使用電力容量について
瞬時電力量表示画面(5-4)にて使用する電気器具の電力量が1500Wを超えると“過大入力危険△”の表示が表示部①に表示されます。この場合すみやかに使用する電気器具の電源を切ってください。
※容量は必ず15A(1500W)以下でご使用ください。

過大入力危険△
1.67 kW

5-8.表示オーバーについて
6項目のいずれかが999の表示になった場合、その画面に下記のように“表示オーバー”が表示され、“999”が点滅します。
また、この時に他の画面で999になっていない機能については順次999になるまで継続して測定が行われます。

表示オーバー
999 円

5-9.表示される数値について

- (1) 簡易的な測定方法を用いているため、インバータ機器や波形がひずみ波(力率が1以下のもの)の場合など接続する電化製品によっては力率が1の製品に比べ、測定誤差が若干大きくなることがあります。
【例】パソコン、テレビ、洗濯機、冷蔵庫など
表示される値は目安としてご覧ください。
ヘアードライヤーの「SET、弱、LOW」などのヒーター熱量の少ないモードやホットカーペットなど、接続する電気器具が半波整流回路になっている製品は、本器では正しく測定することができません。

- (2) 電力量が少ない待機電力などは測定できません。
- (3) 電気使用料金は1kWh＝22円※1で計算しています。
- (4) CO2排出量(kgCO2)は下記計算式を元に計算しています。
電力量(kWh)×CO2排出係数0.555※2

※1 (社) 全国家庭電気製品公正取引協議会による
新電力料金目安単位

※2「改正地球温暖化対策推進法」に基づく政令による

6.日常のお手入れ

- 安全にお使いいただくために、次の日常のお手入れをおすすめします。
- (1) 本器の電源プラグや電気器具のプラグがしっかりと差し込まれているか確認してください。
- (2) 時々、電源プラグを電源コンセントから抜き、電源プラグの埃や汚れを取り除いてください。